

命を守る対策を

9月1日は「防災の日」と定められ、災害について再認識する日と位置付けられています。近年は、ゲリラ豪雨と呼ばれる時間雨量50ミリメートルを超える豪雨の発生件数が増加傾向にあります。一人一人が防災対策を見直し、いざというときのために備えましょう。



もし今、大地震が起きたら

災害に対する備え

迅速・安全に避難できるように、次のような準備をしましょう。

- 携帯ラジオや地図を持ち歩く
- 懐中電灯や、非常食・保存水・常備薬などの非常持ち出し品、スニーカーを準備しておく
- 地域の避難場所や、一時的に利用できる近くの集会所などまでの避難経路を確認しておく
- 家族などと安否確認の方法や集合場所を話し合っておく
- 帰宅経路やコンビニエンスストア・ガソリンスタンドの位置を確認しておく。県が「災害における帰宅困難者支援に関する協定」を締結している店舗では、可能な範囲で水やトイレなどが提供されます

災害時の避難行動

震災

地震発生時には次のことに注意

しましょう。

- たんすや棚などの家具類から離れて、机の下などに隠れ、自分の身を守る
 - 激しい揺れが収まったら、台所・ストーブなどの火元を確認する。ブレーカーを切り、ガスの元栓を閉じる
 - 職場や集客施設などの安全な場所にとどまる
 - 災害用伝言サービスを利用し、家族や自宅の無事を確かめる
 - 交通情報や被害情報などを入手する
- 大規模な地震が発生すると、公共交通機関が運行を停止し、帰宅が困難になることが予想されます。多くの人が一斉に徒歩で帰宅を始めると、火災や、沿道の建物からの落下物などにより負傷する危険があり、さらには救助・救急活動の妨げとなる場合があります。むやみに移動するのはやめましょう。

土砂災害

危険のある場所から離れることで、崖崩れなどの土砂災害から身を守ることができます。崖崩れの土砂は、斜面の高さの2〜3倍も離れた所まで届くといわれています。

次のような前兆を発見したら、速やかに崖から離れ、危機管理課(☎20・1523)に情報を提供してください。

- 斜面に亀裂ができる
 - 小石が斜面からこぼれ落ちる
 - 斜面から地鳴りが聞こえる
 - 普段澄んでいる湧き水が濁る
 - 斜面から水が吹き出す
- 県と気象庁では、大雨により土砂災害の危険度が高まった際に、土砂災害警戒情報を発表しています。

崖の近くに住んでいる人は、この情報が発表されたら直ちに避難ができるよう、非常持ち出し品を準備し、避難場所を確認しておきましょう。

浸水害

大雨による浸水害の恐れがある場合は、自宅の2階など高い所へ緊急避難することが有効です。

激しい雨や浸水、夜間で歩行が危険な場合は上の階へ退避してください。

災害時の情報収集

市では、台風や大雨による気象警報など、防災・災害に関する情報を次の方法で発信しています。

防災行政無線

防災行政無線のスピーカーは市内149カ所に設置されています。聞き逃した場合は、防災行政無線テレホンサービス(☎0120・38・3898)を利用してください。また、なりたメール配信履歴(<https://service.sugumai.com/narita/member/portals/>)でも確認できます。

なりたメール配信サービス

メールで携帯電話やパソコンへ配信されるため、職場や外出先などでも情報を手ででき、重要な情報の見逃しを防ぐことができます。配信を希望する場合は、利用登録を行ってください。

配信される情報(選択が可能)

- 防災情報
- 天気に関する情報
- 消防情報
- 防犯・安全情報
- 防災行政無線情報

登録方法

右下のQRコードを読み取るか、なりたメール配信サービス登録用アドレス(info-n@sg-m.jp)に空

メールを送信し、返信される案内に従ってください。

返信メールが届かない場合、迷惑メール対策がされている場合があります。「sg-m.jp」ドメインからのメールを受信するように設定してください。

登録方法が分かる



ならない場合は、祝日を除く月々金曜日の午前9時～午後6時に受託会社バイザー(☎0570・055・783)へ問い合わせてください。

防災情報ツイッター

なりたメール配信サービスなどで配信した情報を成田市防災情報(@bousai_narita)で発信します。ツイッターに登録していなくても内容を見ることはできます。

URL=http://twitter.com/bousai_narita

周辺の危険箇所を確認

市では、避難所や災害危険区域などをまとめた「なりた地図情報」をインターネット上で公開しています。

災害が起きても安全に避難できるように、自宅の周辺や通勤・通学路などの危険箇所を確認しておきましょう。

URL=<http://www2.wagama-chi-guide.com/narita/>

URL=<http://www2.wagama-chi-guide.com/narita/>



市が指定する避難先

市が指定する避難先には、「指定緊急避難場所」と「指定避難所」の2つがあります。

指定緊急避難場所は、災害の危険から緊急的に避難し、身の安全を守るための場所です。災害の種類別洪水、崖崩れ、地震、大規模な火事、内水氾濫に指定して

います。近くの避難場所がどのような災害に対応しているかは、ホームページ(<http://www.city.narita.chiba.jp/anshin/page073600.html>)で確認できます。

指定避難所は、避難してきた人を災害の危険性がなくなるまで必要な間滞在させたり、災害で自宅に戻れなくなった人を一時的に滞在させたりするための施設です。対象になるのは、次のような人です。

- 災害で住居を失った人
- ライフラインなどの被害により、

日常生活が著しく困難な人
○ 避難勧告などにより、緊急避難の必要がある人

災害時に避難所で支援できることには限界があるため、避難者の生活に必要な最低限のことから優先して対応します。

普段の生活との差をできる限りなくすためにも、高齢者・障がい者への心配りや、プライバシーへの配慮など、避難者同士が互いに協力するようお願いします。

※くわしくは危機管理課(☎20・1523)へ。

災害用チェックリスト

避難するときに持っていくもの

貴重品

- 現金(小銭も)
- 印鑑
- 保険証
- 預金通帳や有価証券の写し
- 本人を確認できるもの

衣類・洗面道具類

- 下着類
- 靴下
- セーター類
- タオル
- せっけん
- 歯磨き用品
- 紙おむつ
- 生理用品

小道具類

- 懐中電灯
- 携帯ラジオ
- 乾電池
- 軍手
- ライター・マッチ

栓抜き・缶切り

- ティッシュ・ウェットティッシュ
- 使い捨てカイロ
- 筆記用具
- 雨具
- 救急セット(常備薬も)

水・食料品

- 飲料水
- 非常食
- 飲料用ポリタンク

3日分を目安に備蓄しておくもの

懐中電灯(できれば1人1個・予備の電池も)、ろうそく、食料、ビニール袋、固形燃料、簡易ガスコンロ、1人1日3リットルの飲料水、ペット用の餌や水

被害が大きいと、行政機関(自治体・消防・警察・自衛隊など)による救援活動も難しくなります。公的支援が受けられるまでのおおむね3日間は、自力で避難生活が送れるよう、あらかじめ準備しておきましょう。